

1. ぐるっと図書館散歩
 2. 図書館を活用しよう！
 3. 資料を探そう！
 4. レポートの進めかた①
 5. レポートの進めかた②
- ※参考資料

第2回 情報科学 図書検索システム入門 - 図書館を活用しよう -
附属図書館 利用支援係 2020.5.open!

「1.ぐるっと図書館散歩」はいかがでしたか？
今度はぜひ実際に図書館を見に（利用しに）来てください。
お待ちしております！

「2.図書館を活用しよう！」では、「大学での学び」「資料の種類」などについて見ていきましょう。

■ 大学での「学び」とは？

高校



大学

- 知識の蓄積
- 「正解」が求められる学び
- 教科書による授業が中心
- 自分で問いを立て、答えを探す
- レポート作成やグループワークなど、さまざまな学び方



主体的な学び

さて、大学での「学び」とはどういうものでしょう。

例えば、高校までの「学び」は、教科書による授業で「与えられるもの」であったり、「正解」が求められるものなど、その多くが「知識の蓄積」でした。

一方、大学での「学び」は、講義を聞くだけでなく、それらを踏まえて自分で問題（テーマ）を設定して、先行研究（＝当該研究においてすでに発表された研究）を踏まえて解決する（答えを探す）ことが求められます。

学年が上がるにつれて、レポート、ゼミや学会でのプレゼン、卒業論文など、これからは多くの場面で「発見」「探る」「解決」する力が問われます。

■ 大学で主体的に学ぶには？

➡ **図書館を活用しよう！**

図書館にあるもの

資料

- ・ 図書
- ・ 雑誌・新聞
- ・ 電子資料
- ・ 視聴覚資料

設備

- ・ 語学学習室
- ・ アクティブラーニング室
- ・ …

サービス

- ・ 資料の閲覧・貸出
- ・ 蔵書検索
- ・ マイライブラリ
- ・ レファレンス
- ・ 講習会
- ・ …



こういった大学での「学び」において、図書館は重要な役割を担っています。「図書館にあるもの」として、

「資料」
「設備」
「サービス」

が挙げられます。これらをうまく活用して「学び」を重ねていきます。

■ 図書館の資料（1）

図書

- ・特定のテーマについて書かれている
- ・タイトルや目次を見ると、ある程度内容がわかる



一般図書

教養のための図書

専門図書

医学・看護学など専門分野の図書

参考図書

辞書・事典・年鑑など調べるための図書

それでは、図書館が提供する資料について、見ていきましょう。

最初に「図書」についてご紹介します。

「図書」は、特定のテーマについて書かれていて、タイトルや目次で、その内容についてある程度わかることが多いです。

そして多くの図書館では、

- ①「一般図書」
- ②「専門図書」
- ③「参考図書」

のように大きく3つに分けています。

■ 図書館の資料 (1) -①

図書

- ・特定のテーマについて書かれている
- ・タイトルや目次を見ると、ある程度内容がわかる



一般図書

教養のための図書

専門図書

医学・看護学など専門分野の図書

参考図書

辞書・事典・年鑑など調べるための図書

「一般図書」とは、教養のための図書です。

- 0：総記
- 1：哲学
- 2：歴史
- 3：社会科学
- 4：自然科学
- 5：技術・工学
- 6：産業
- 7：芸術・美術
- 8：言語
- 9：文学

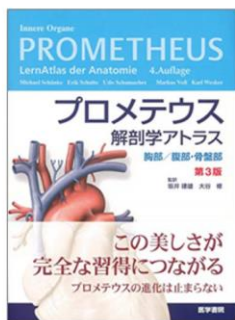
など分類別に附属図書館1階に並んでいます。

また、『ブラック・ジャック』『コウノドリ』など、医療をテーマにしたマンガも所蔵しています。

■ 図書館の資料 (1) -②

図書

- ・特定のテーマについて書かれている
- ・タイトルや目次を見ると、ある程度内容がわかる



一般図書

教養のための図書

専門図書

医学・看護学など専門分野の図書

参考図書

辞書・事典・年鑑など調べるための図書

次に「専門図書」です。

生物学、医学、看護学など専門分野に特化した図書のことで、2階に配架しています。国試対策コーナー（医師・看護師等の国家試験のための資料）もあります。

大学図書館は、公共図書館と違って、このような専門書（学術書）を多く所蔵しています。

■ 図書館の資料 (1) -③

図書

- ・特定のテーマについて書かれている
- ・タイトルや目次を見ると、ある程度内容がわかる



一般図書

教養のための図書

専門図書

医学・看護学など専門分野の図書

参考図書

辞書・事典・年鑑など調べるための図書

最後に「参考図書」です。

調べものをするときに使う辞書や辞典、データブックなどのことで1階に配架されています。電子資料で閲覧できるものもあります。

■ 図書館の資料 (2)

雑誌



- ・ 定期的に出版される
- ・ それぞれの雑誌に、通し番号（巻号）が振られている
- ・ 個々の論文や記事の集まり
- ・ タイトルだけでは個々の内容を把握できない

※ 大学図書館では、**学術雑誌** が中心

そして「学術雑誌」です。

学術雑誌には、最新の研究成果が発表されます。

その中でも、審査（査読）がある（＝審査を通らないと掲載されない）雑誌に掲載された論文は、他の論文に引用されることも多くなります。

■ 図書館の資料 (3)

電子資料

電子ブック(EB)・電子ジャーナル(EJ)

- ・インターネット上で読む電子化された図書や雑誌
- ・VPNサービス・学認サービスで学外からも利用できる

[電子ブック]



[電子ジャーナル]



最後に「電子資料」です。

最近では紙の冊子だけではなく、電子ブック (eBook=EB) や、特に理系では電子ジャーナル (eJournal=EJ) といった電子資料が主流になってきました。滋賀医科大学でも、多くの電子資料を契約してみなさんに提供しています。このほか視聴覚資料 (CD、DVDなど) もあります。利用についてわからないことがあれば、1階カウンターまでお尋ねください。

※VPNサービス・学認サービスについては、『第2回 図書検索システム入門(3/5)』で説明します。

■ 資料の特徴（まとめ）

情報の種類			
	情報の信頼性	速報性	探す・入手する
図書・雑誌	高い	遅い	時間がかかる
インターネット (一般的なウェブサイト)	低い (可能性もあり)	早い	簡単・手軽



図書館資料の種類			
	情報の信頼性	速報性	探す・入手する
紙媒体 (図書・雑誌)	高い	遅い	図書館に行く
電子媒体 (電子ブック・電子ジャーナル)	高い	早い	パソコン・スマホで

それでは最後に、図書館が提供する「資料」についてまとめておきましょう。

まずは、「情報の種類」の方を見てください。

図書・雑誌（紙）とインターネット（一般的なウェブサイト）を、

「信頼性」

「速報性」

「探す・入手する」

の3つに注目して比較しました。

インターネット情報は、速報性や入手しやすい点にメリットがありますが、発信源・根拠に信頼性・妥当性があるかどうかというと、そうでないこともあり、情報の信頼性という点では、図書・雑誌に軍配が上がります。

一方、同じように「図書館資料の種類」にあてはめて見てみると、インターネット情報は、図書館資料で言う電子媒体の資料「電子ブック」「電子ジャーナル」「データベース」などが当たります。

これらは大学が選定、契約をして提供しているものなので、一般的なウェブサイト情報に比べ、信頼性の高いもの、安心して利用できるもの、と言えます。

これで、「2.図書館を活用しよう！」は終了です。

引き続き、『3.資料を探そう！』に進んでください。